

令和6年度三本木農業恵拓高校 総合的な探究の時間ルーブリック

場面		レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
全般	知識・技能	各教科に関する知識・技能が身に付いていない。	各教科に関する知識・技能を <u>活用</u> しながら身に付けた。	課題設定や解決策の取組等について、各教科で身に付けた知識・技能と関連付けられた。		
	行動例		プレゼン、外部との連絡等で国語の知識を活用した。プレゼン発表で情報での技能を活用した など	課題設定の際に、保険、公民等の学習内容等から考えた。解決策の取組について例えば理科学的な知識を活用した。		
課題設定	思考・判断 (課題設定)	課題を発見することができていない。	課題を <u>自ら発見</u> した。	<u>社会性</u> もしくは <u>独創性の高い課題</u> を自ら発見することができた。		
	行動例		自分で課題を発見できた。	社会にアプローチできる、もしくは他の人がまだ目をつけていない課題を自分で発見できた。		
調査・分析・計画書作成・評価	思考・判断 (調査・分析)	調査・分析が行われていない。	調査・分析を行ったが <u>不十分</u> だった。	調査・分析が行われた。	調査・分析を十分に行い、かつ情報の吟味・分析が <u>適切</u> だった。 アクションに対する評価がなされていた。	調査・分析を多面的かつ <u>広範囲</u> に行い、情報の吟味・分析が適切だった。 アクションに対する評価が適切だった。
	行動例			外部からの聞き取りや情報集ができた。 アクションの根拠となる情報を集めることができた。	例えば幼児のけがの原因を集めるうちに年齢別に原因が異なることが分かり、ある年齢のけがの原因を調べ、アクションの根拠とした。	ネットだけでなく文献・新聞等からも情報を集め、さらにその情報から疑問を持ち、さらに情報を集め、吟味することができた。
アクション	思考・判断 (調査・分析) 学びに向かう力、人間性 (主体性)	解決策が実行できなかった。	何らかの形で自ら解決策を実行した。	<u>自ら解決策を考え、工夫しながら実行</u> した。	<u>調査・分析結果を踏まえた解決策を検討</u> し、実行した。	調査・分析結果を踏まえ、論理的かつ <u>創造的</u> もしくは <u>社会を改善しうる解決策</u> を検討し、実行した。
	行動例		実際に何かを自分たちで作った。	例えば安全に遊べるためのおもちゃを工夫して作った、など。	レベル2に加え火災予防の場合原因がコンロ火災とわかり、台所に立つ人を対象にスーパーにポスターを貼った、など。	レベル3に加え、解決策が独創的だったり、社会を変えうる解決策になっている。
まとめ	表現	プレゼンテーション等の作成が未完成だった。	プレゼンテーション等を <u>完成</u> させた。	プレゼンテーション等により <u>論理的な発表</u> ができた。	プレゼンテーション等により論理的かつ <u>図や表を効果的に用いて発表</u> ができた。	プレゼンテーション等により論理的かつ図や表を効果的に用いた上、 <u>原稿を見すぎないなど他者を意識した発表</u> ができた。
	行動例			各スライド、説明の筋が通っており、聞いて理解できるものとなっている。	レベル2に加え、図・表・写真等を加え効果的になっている。	レベル3に加え、原稿の棒読みではなく、自分の言葉で語ったり、アドリブやジェスチャーを効果的に交えている。
全般	学びに向かう力、人間性 (協働性)	生徒や外部の人々と関わる <u>ことができていない</u> 。	生徒や外部の人々と <u>関わる</u> <u>ことができた</u> 。	生徒や外部の人々と <u>適切に関わる</u> ことができた。	生徒や外部の人々と <u>異なる意見を調整</u> しながら、取組を進めることができた。	
	学びに向かう力、人間性				失敗しても次の実践に取り組むなどの粘り強さが見られた。 探究活動を通して自らの進路や生活を振り返ったり、関連するニュース等を見て課題を考えたりするなどした。	
	行動例					
全般	学びに向かう力、人間性 (キャリア)	自らの在り方生き方を考えず、決定することでもできていない。	自らの在り方生き方を考えようとした。	自らの在り方生き方を考え、決定することができた。	主体的に自らの在り方生き方を考え、決定することができた。	